

薬は正しく使いましょう！

医薬品の正しい使用や薬剤師の役割を知ってもらうため、啓発活動を行う週間です。

薬の正しい使い方とは？

使用上の注意をよく読んで、用法・用量を守る。正しく保管すること。

飲み薬は決められた量よりも多く飲めばさらによく効くとういうものではなく、逆に副作用や中毒などが現れる危険もあります。

薬を飲むタイミングについても同様です。特に高齢者や妊娠中、授乳中の方、赤ちゃんなどの場合は薬の種類や使用する用法・用量に注意する必要があります。医師や薬剤師などの専門家から十分説明を受け、正しく使用しましょう

正しい保管方法

- ・子どもの手の届かないところ
- ・湿気・日光・高温を避ける
- ・古い薬は廃棄



薬のギモン

Q 薬を飲むタイミングって？



A. 用法の指示のうち「食前」「食後」「食間」とは次のタイミングを言います。

「食前」：食事の約1時間～30分前（胃の中に食べ物が入っていないとき）

「食後」：食後約30分以内（胃の中に食べ物が入っているとき）

「食間」：食事の約2時間後（食事と食事の間）※食事時の服用ではない

Q もし薬を飲み忘れたら？



A. 気づいたときにすぐに飲みましょう。

ただし、次の服用時間が近づいている場合はその分は飲まずに次回からいつものように飲みます。決して2回分を一度に使用してはいけません。

Q なぜ薬の服用はお水がいいの？



A. どのお薬にも影響がないからです。

昨今ではお茶で飲んでも問題ないと言われていますが、市販されている「濃いお茶」や「トクホのお茶」などはできる限り避けてください。薬の効果がお茶の成分により変化する恐れがあります。

薬をより安全に使うために「お薬手帳」を活用して、自分が使っている薬を記録しましょう。

薬について安心して気軽に相談したい方は「かかりつけ薬剤師・薬局」をおすすめします！

医師が発行した処方箋はどこかの薬局でも取り扱ってくれます。

しかし、受診する医療機関によって薬局をかえるのではなく、かかりつけ薬剤師・薬局をもちましょう。

